



2019年11月7日

各 位

会社名 藤田観光株式会社
代表者名 代表取締役兼社長執行役員 伊勢 宜弘
(コード番号：9722 東証第一部)
問合せ先 取締役企画グループ管掌 和久利尚志
(TEL (03)5981-7723)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年8月6日に公表しました2019年12月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年12月期 通期連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 70,300	百万円 900	百万円 900	百万円 300	円 銭 25.04
今回修正予想 (B)	68,500 ～69,500	△200 ～200	△200 ～200	△400 ～0	△33.39 ～0.00
増減額 (B-A)	△1,800 ～△800	△1,100 ～△700	△1,100 ～△700	△700 ～△300	
増減率 (%)	△2.6 ～△1.1	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (2018年12月期)	69,285	1,099	1,105	556	46.46

2. 業績予想の修正理由

当社の主要事業である宿泊部門におきましては、日韓関係悪化に伴い韓国人宿泊利用者が大幅に減少したほか、これに起因し競合各社間でのインバウンド獲得競争が激化するなど、足元は厳しい事業環境へ変化しており、客室稼働、客室単価が当初想定の水準を下回る見込みです。

また、本年9月10月に発生した大型台風(9月台風15号、10月台風19号)により、当社グループの施設も関東地方を中心に建物設備等に被害を受けました。現時点では、全ての施設が営業を再開しておりますが、特に神奈川県箱根町では、温泉供給配管や敷地内駐車場の破損等が発生し、一時的な営業休止やキャンセル等、機会損失も発生しました。

なお、今後の見通しについては、台風被害による今後の需要減退影響や、復旧にかかる工事範囲が当社敷地外の河川や国道部分に及び、各所管の行政機関との協議等を要することなど不透明な部分を考慮し、業績予想

数値は、レンジでの開示とし、売上高は 685 億円～695 億円、営業利益、経常利益はともに△2 億円～2 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は△4 億円～0 億円とさせていただきます。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2019 年 8 月 6 日発表)	—	40.00	40.00
今回修正予想	—	—	—
当期実績	—		
前期連結実績 (2018 年 12 月期)	—	40.00	40.00

4. 配当予想の修正理由

当社は、剰余金の配当にあたっては株主の皆さまへの還元を十分に配慮し、今後の企業体質の一層の強化と事業展開に活用する内部留保の蓄積を勘案のうえ、業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、上記業績予想の修正のとおり、前回発表に対し利益の減少が見込まれることから、1 株あたり 40 円としておりました期末配当金を現時点では未定とさせていただき、今後の見通しが得られ次第速やかにお知らせいたします。

以 上